

タイトル	著者名	内容紹介
<p>第165回芥川賞受</p> <p>貝に続く場所にて</p>	石沢 麻依	ドイツの学術都市に暮らす私の元に、震災で行方不明になったはずの友人が現れる。人と場所の記憶に向かい合い、静謐な祈りを込めて描く鎮魂の物語。
<p>第165回芥川賞受</p> <p>彼岸花が咲く島</p>	李 琴峰	記憶を失くした少女が流れ着いたのは、ノロが統治し、男女が違う言葉を学ぶ島だった——。不思議な世界、読む愉楽に満ちた中編小説。
<p>第165回直木賞受</p> <p>テスカトリポカ</p>	佐藤 究	メキシコの麻薬密売人バルミロと、臓器売買コーディネーター末永は、新たな闇ビジネスを実現させるため日本へ向かう。少年コシモはその才能を見出され、知らぬ間に彼らの犯罪に巻きこまれていく。
<p>第165回直木賞受</p> <p>星落ちて、なお</p>	澤田 瞳子	鬼才・河鍋暁斎を父に持った娘・暁翠の数奇な人生とは——。父の影に翻弄され、激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。
<p>能面検事の奮迅</p>	中山 七里	忖度しない! 空気を読まない! 完全無欠の司法マシン再臨。大阪地検一級検事・不破俊太郎、政治とカネの闇にかき消された真実を暴く。 人気検察ミステリーシリーズ第2弾。
<p>invert 城塚翡翠倒叙集</p>	相沢 沙呼	事故として処理されるはずだった殺人事件。だが、犯人たちのもとに、死者の声を聴く美女、城塚翡翠が現れる。すべてを見通す翡翠の目から、彼らは逃れることができるのか? 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』続編。
<p>兇人邸の殺人</p>	今村 昌弘	廃墟テーマパークにそびえる「兇人邸」。その奇怪な屋敷に侵入した葉村と比留子を待ち構えていたのは、無慈悲な殺人鬼だった。 「屍人荘の殺人」シリーズ第3弾。
<p>老いの福袋</p>	樋口 恵子	老年よ、大志を抱け、サイフも抱け! 88歳のヒグチさんの日常は初めてづくしの大冒険。トイレ閉じ込め事件から、人づきあい、介護、終活問題まで、人生100年時代を生きる人に勇気を与える「知恵とユーモア」がつまったエッセイ。